

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 大館市清水 4 - 4 - 1 5
 名 称 株式会社伊徳
 代表者 代表取締役社長 塚本徹

株式会社伊徳

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

「暮らし提案」「人への優しさ」「環境への配慮」の 3 つのキーワードを中心に、事業活動を通じて、地域の皆様のお役に立ち、環境・社会の持続可能な発展を目指す S D G s の目標達成に貢献してまいります。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 初回登録年月日：R 3 年 11 月 19 日	関連する主な SDGs ゴール (最大 3 つ)
☑経済 □社会 ☑環境	環境保全としてごみの削減とリサイクル活動に取組む	ごみの排出量を 5 %削減 (2020 年度比)、トレー to トレーによる循環型資材の 活用で C o 2 削減 (2020 年度比 3 0 %増)	*ごみの排出量 2023 年 度実績で 2020 年度比 84%。*トレーの循環型 資材活用で C o 2 削減効 果が 422 t /co2 の 34% 増。引き続き再生トレー の導入拡大に取組む。	12 13 17
□経済 ☑社会 ☑環境	食育や健康促進活動 や職場体験、インター シップの受入れに 積極的に取組む	ファイブアディ (食育) や 職場体験、インターシップ 受入れの増加 (2020 年度 比で参加人数 10%増)	*ファイブアディに 261 人参加 (基準年度実績な しのため 2021 年度対 比)。インターンシップ は 186%、職場見学は 137%と受入れ人数増 加。	3 4 11
☑経済 ☑社会 ☑環境	地域資源を積極的に 利用した地産地消や 地域の食文化を継承 した暮らし提案に取 組む	地域の旬商品 (野菜や果 物、近海魚や地場産お肉) のフェア企画や地域祭典、 行事イベントでの伝統食な ど年間を通じて提案する (年 52 週の実施)	*産地直送コーナーの継 続展開。野菜、果物や近 海魚等の地場商品の販売 を強化。特に旬商品は露 出を高め取組んだ。	8 14 15

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさを守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	